

校長室より いっぴく

令和4年8月22日
長瀬小学校
校長室だより
No.7

「第2回 学ぼう 校長室の一服で」 ～ お先に ～

32日間の夏休みが終わり、元気な子供たちが学校に戻り、うれしく感じています。

夏休み前に「学ぼう 校長室の一服で」の2回目を行いました。めあては、「待っている人の気持ちを思って『お先に。』と言って、いただきましょう。」でした。いっしょに参加した友達に言葉を掛けることに照れがあったようですが、相手への思いやりを伝えることの良さを感じた子供もいたようです。振り返りシートに書かれた感想を紹介します。



○わたしが、「お先に。」と言ったら、ゆうきくんが「どうぞ。」って言ってくれたから、あんしんしてのめました。まえより、あじがにがくないなとおもいました。

○「お先にちょうだいいたします。」というふうにつかえると思いました。

○「お先に。」というみんなの気持ちはわからないけど、わたしは「お先に。」ということばは、とても気持ちがいいと思いました。お茶ももっともっと苦くてもよかったです。

○「お先に。」ということばを知って、今度使ってみたいなと思いました。お茶の味は、前にのんだお茶と同じで、少し苦かったけど、今回は最後のあわまで全部のめてよかったです。

○お茶をのむときには、待っている人の気持ちを思って「お先に。」と言うことを初めて知りました。おかしもお茶もおいしかったです。今度お茶をのむときには「ちょうだいいたします。」と「お先に。」を言ってみたいと思います。

○待っている人をきづかって「お先に。」と言っていただけだと思います。なんだか、待っている人にもうしわけなさを言えたので前よりも先にのみやすかったです。

○今回は、「お先に。ちょうだいいたします。」と言って、お茶をいただきました。この言葉を使うと、自分も周りの人もみんな良い気持ちになると思いました。私は、「お先に。」と声をかけられて、私のことを思ってくれていることが伝わったので、とてもうれしかったです。私は、まだお茶をのんでいない人のことを思って、「お先に失礼します。」という気持ちをこめて「お先に。」という言葉を使いました。「お先に。」という言葉はまっている人の気持ちを思って使うすてきな言葉だと思いました。いい言葉を教えてもらえて良かったなと思えました。それから、少しなれてきたので、お茶が苦くてもおいしいと感じるようになりました。校長先生のお茶会に参加して、校長先生やお友達とまた少し仲良くなれたと思えました。

○ぼくは、「お先に。」という言葉は、まだお茶をのまない人への気づかいの言葉だと思いました。だから、思いやりの気持ちをこめて「お先に。」という言葉を使いました。また、「お先に。」という言葉には言う人も言われる人も気分が良くなったり、あたたかい気持ちにさせたりする力があると感じました。そして、今日のお茶は、ほろ苦くておいしかったです。また、おかしからは日本の季節や行事などの文化を感じました。「今日は、七夕だなあ。」と思い、家に帰って夜空を見上げました。あいにく曇り空でしたが、ぼくの心の中では星がかがやいていました。